

サービスラーニングの活動を通して

社会福祉学部社会福祉学科 2年 岡本 真弥

活動先：NPO 法人 ゆめじろう

クラス：松下 典子 先生

1. はじめに

私は、今回サービスラーニングで福祉大からも近い武豊町にある NPO 法人ゆめじろうで活動させていただいた。初めは、サービスラーニングとは何か、全くイメージもつかず、不安を抱きながら活動に入ったが、実際に地域の現場に入ってみることで多くの発見があった。

2. 自分の成長と気づき

この一年間のサービスラーニングの活動を通して、地域の現場に入ることによって普段は気付けないことに気付くことができたと思う。NPO 法人ゆめじろうは、「住み慣れたまちでふつうに暮らしたい」という思いを実現するため、小回りのきくサービスを提供している。私たちは毎日何の不自由もなく生活しているが、高齢者や障害を持った方にとって、地域で“ふつうに”生活していくことが簡単なことではないことを実感した。私たちはサービスラーニングの活動の中で、自閉症などの発達障害を持つ子どもたちを対象にサービスを提供しているこじろうで、お楽しみ企画を行った。私は自閉症の子どもたちと関わることが初めてであったため、どのように接したらいいのか分からなかった。事前に自閉症についての本を読み、自分たちがかける言葉で子どもたちがパニックを起こしてしまったらどうしようという不安も大きかった。サービスラーニングの初日、実際に子どもたちと関わってみて、最初は上手くコミュニケーションをとることができなかったが、子どもたちの目線に合わせ、分かりやすい言葉で声をかけると、子どもたちは笑顔を見せてくれた。自閉症の子どもたちは意思表示が得意ではないけれど、少し関わり方を工夫するだけでふつうに生活できることが分かった。またこじろうでは、一日のスケジュールを分かりやすく絵で示すなど工夫がなされていて、環境を整えることで子どもたちがとても生活しやすくなることが分かった。お楽しみ企画では、かき氷とたこ焼きを子どもたちと作った。企画を考える際、子どもたちができること、できないことが全く分からなかったのもとても難しかった。そして、企画を実行する前に、学生同士でもスタッフさんとも打ち合わせを重ね、事前準備の大切さを学んだ。あらゆることを想定して準備を進めていくことが必要だと思った。また、企画の事前準備では、子どもたちに分かりやすくするために、かき氷とたこ焼きの看板を作り工夫して行うことができた。しかし、たこ焼きは子どもたちにできあが

ったものを食べてもらう形であったが、一緒に作る過程や、自分たちで作ったものを食べることもまた子どもたちにとって楽しみであり、さらに工夫が必要であったと思う。打ち合わせを多く重ねても、実際に企画を行ってみると上手くいかない点もあり、まだまだ事前準備が足りないことを実感した。

3. 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

サービスマーケティングの活動の中で、10周年記念事業のイベントの宣伝を行うため、高齢者の憩いのサロンに行った。初めて地域住民の集まるサロンに出向き、とても多くの地域住民が集まっていて、地域の交流の場が必要とされていることを実感した。子どもから高齢者まで幅広い世代の地域住民が交流する機会があることはとてもいいことだと思った。また、サロンのような居場所があることは孤独死や無縁社会を防ぐことにつながると感じた。

今回サービスマーケティングの活動を通して、初めてNPOと関わり、NPOがどのようなことをしているのか、どのように運営しているのか、少しではあるが知ることができた。知多半島は特にNPOの活動が盛んであり、地域に密着した様々なサービスが必要とされていることが分かった。こじろうでの活動では、発達障害を持つ子どもたちに対してサービスのない現状を知り、行政の手の届かないところに介入していくことができるのがNPOの特徴であると感じた。現状の制度・サービスではなかなか日々変化していくニーズには対応できないため、NPOのような地域に密着した団体がその土地に合ったサービスを見極め、自主事業として細やかなサービスを行っていくことが今後さらに求められてくるだろう。また、ゆめじろうの「小回りのきくサービス」というものがとても印象的で、大きな団体になるのではなく、小さなニーズを一つ一つ見つけ、対応し、支援していく、フットワークの軽い支援が地域で求められていると感じた。

そして、NPOは経済的に余裕があるわけではないので、細やかなサービスを提供していくために、どのように工夫していくか、さらに課題となってくると思う。

4. 終わりに

私はサービスマーケティングの活動を通して、実際に地域の現場へ行き、多くの人と出会い、居場所をつくることの重要性を感じた。住み慣れたまちでふつうに暮らしていくために、NPOは現状では支援しにくいニーズに対応していくことができると学んだ。今回の活動は、“今、自分に何ができるのか”考えるきっかけとなった。今後の学習に生かしていきたい。